

2021年3月3日
日本船主協会 海事人材部

国立館山海上技術学校 学生を対象とした勉強会を開催

日本船主協会では、2008年7月に人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人海技者確保のための広報活動を展開しております。

2021年2月16日(火)に、同タスクフォース内の「内航ワーキンググループ(WG)」のメンバーが中心となり、国立館山海上技術学校の学生を対象に、内航海運に関する勉強会をオンラインで開催いたしました。

勉強会は、海技教育機構の学校の学生を対象に、内航海運の現状や運航及び荷役の実務等について講演を行い、生徒指導や学習に資することを主な目的としています。

6回目の開催となった今回は、内航WGメンバー会社より真治氏(栗林商船)のほか、尾形氏(NSユニテッド内航海運)、浅野氏、高松氏(鶴見サンマリン)、及川氏(上野トランステック)がオンラインで参加しました。

学生対象の勉強会では、真治氏が内航海運の現状を紹介した後、真治氏、尾形氏、浅野氏が、RORO船・貨物船・タンカーなどの各社運航船やその荷役について、実体験を交えながら講演を行いました。講演後、学生からは「どのような人材が求められているのか」や「就職に向け、身につけるべきことは何か」といった質問があり、講師がそれに対応しました。

同日に行われた教員との意見交換会では、館山校の在校生の様子や進路状況について情報を共有した後、内航海運業界の現状について、意見交換を行いました。

当勉強会および意見交換会は、学校や学生の様子を知る貴重な機会となりました。人材確保タスクフォースでは、今後も関係機関と協力し、幅広い活動を継続していくこととしています。



オンラインでの勉強会の様子



意見交換会に参加する教員方